



格 ⇨ Case (格子・状況・関係)

動詞與名詞之間存在的語意邏輯關係 ⇨ 格

表現這種語意關係的助詞 ⇨ 格助詞



每個動詞都需要一定關係的名詞才能完成其語意上的概念



★我七點搭公車去學校 ⇨ 行く (私・七時・バス・学校)

動作の主體 ⇨ 私 が 行く

動作的時間點 ⇨ 七時 に 行く

動作の工具・手段 ⇨ バス で 行く

動作の方向 ⇨ 学校 へ 行く

私が 七時に バスで 学校へ 行く  
(我七點搭公車去學校)

★格助詞不是看名詞來決定，用什麼格助詞要看名詞與動詞之間的語意關係

学校 へ 行く ⇨ 動作の方向 (去学校)

学校 で 習う ⇨ 動作の場所 (在学校學習)

学校 に ある ⇨ 存在的位置 (在学校)

電車 で 行く ⇨ 動作の工具・手段 (利用電車去)

電車 に 乗る ⇨ 動作の目標 (搭乘電車)

同一個格助詞可以表示 2 ~ 3 種不同的邏輯關係



相同螺絲鎖在不同的零件之間

バスで 行く ⇨ 動作の工具 (利用公車去)

学校で 習う ⇨ 動作の場所 (在学校學習)

風邪で 休む ⇨ 動作の原因 (因感冒休息)

八時に 行く ⇨ 動作的時間點 (八點去)

学校に ある ⇨ 存在的位置點 (在学校)



勉強に 行く ⇨ 動作の目的 (去讀書)

椅子に 座る ⇨ 動作の定着點 (坐在椅子上)

先生に 会う ⇨ 動作の對象 (見老師)

